

## < 犬の保定の種類と仕方 >

集合注射には、犬を確実に保定できる方が連れていきましょう。

集合注射会場での抱っこをした状態での保定の仕方、一般的な立位と犬座位をご紹介します。

(出典：獣医師広報板)



### 1. 飼い主に抱かれた状態(抱っこ)

☆抱っこに慣れた犬に適しています。

☆犬の頭を動かないように押さえて、脇を締めます。

片方の手で犬の頭部を押さえ、ヒジで犬の身体を保定者の身体にぴったりとくっつくように引きつけ脇を締めます。反対の手で犬の腰部を持ち支えます。その時に、両後ろ足の間に人差し指を入れて、親指と残りの指で左右の足をしっかりと挟むように持つと安定します。

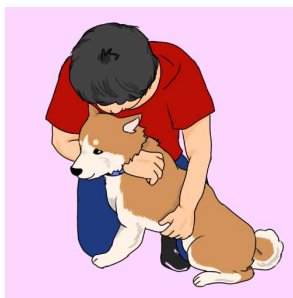


### 2. 四つ足で立った状態(立位)

☆犬の首輪をキツメにして首輪と一緒にほほを押さえると犬が暴れにくくなります。

☆首輪がすっぽ抜けないよう首輪はキツメにします。

犬と同じ方向を向いて、犬を自分の両足の間にいれてまがります。両手で犬の首輪をつかんで頭部を固定します。両足は犬の身体を挟んでください。犬が腰を落とす時には、一人が犬と対面になり頭部を押さえ、もう一人が腰を持ち上げ支えます。



### 3. お座りした状態(犬座位)

☆首に腕を回した脇をゆるめると犬の頭部が抜けるので脇を締めます。

☆片方の手で犬の身体を引き寄せると動きません。

犬の首に下から腕を回し、犬の頭部を抱きかかえるようにして回した手の親指に犬の首輪をかけて押さえます。